

教育研修

No.149 (令和7年3月1日)



「地域の餅つき大会参加」
 令和六年十二月十八日
 学校運営協議会で学校の運営方針を共有していただき、今年度、地域の介護施設と敬老会が例年行っている「もちつき大会」に参加の運びとなりました。子供たちは生活科の学びとして、地域の方が手配してくださった杵と臼でもちつきを体験し、そしていつも練習している歌を歌い、地域の方々と大きな拍手をいただき励みにもなりました。ついたお餅を一緒に食べ、参加者全員の笑顔があふれるひとときとなりました。これからも「地域と共にある学校」を目指してまいります。
 (美瑛町立美馬牛小学校)

おもな内容

おもな内容	ページ
随想	1
研修講座寸評	2~4
出前講座寸評	5~6
令和7年度講座開設の工夫とICT実技研修講座開設	7
令和7年度開催予定講座	8
研究室だより	9~10
お知らせ	10

随想

生きる力

上川教育研修センター組合教育委員会

委員 杉山昌次

(東川町教育委員会教育長)



私は東川町の中山間部に生まれ、今もその近くに住んでいます。幼少期は、祖父、両親、姉、兄、叔母を含む計十人家族で、田畑と乳牛、豚、鶏を飼う農家でした。小学校に上がると、家畜の給餌や牛乳の輸送缶運搬、夕刻に五〇〇mほど離れた牧草畑から牛馬を連れ帰るなどを担い、登校時に生乳を希望する家庭に配達していました。

生乳の売り上げは、月末に自分で請求書を書いて配達家庭から集金し小遣いとしていました。当時の乳価は一八〇ccあたり十六円で、文房具、虫取りや釣り道具の購入費を賄っていました。また、来訪客からお土産の菓子をもらうと、家族に均等に分けるのも子供の役割でした。

冬になると山から切り出された原木を運搬する馬籠が通学路を通り、近所の友人と櫓部分に乗せてもらって登校することがよくありました。小学校低学年時は、まだモーターリゼーションが始まりたてで、春から秋までは馬車も通る時代でした。当時の田植えは、集落の農家総出での手間替え共同作業が中心で、子供たちもその一員として手伝い、地域の共助が強く残っていました。中学生になる頃には、車、トラクターや田植え機などが急速に普及し、農繁期にはトラクターでの田起こし、苗や肥料、収穫物の運搬などを私が担うことがよくあり、一方、近所の手間替えなどは減っていききました。

こうした昭和四十〜五十年代の田舎集落で、連帯意識が強く共に助け合いながら生活し、多くの失敗や間違いをし、家族だけではなく地域の方々に叱られたり褒められたりしながら、他者との向き合い方や仕事の仕方、工夫など生きていく力を身に付けていきました。

現在、ご家庭でどのくらい子供が家のお手伝いや地域のもの・こと・人に触れる機会があるのでしょうか。習い事や少年団・部活動、塾通いなど、ほぼ同年齢での活動や学習が中心ではないでしょうか。

次期学習指導要領に向けた中教審への諮問の中には、「自らの人生を舵取りする力を身に付ける重要性」や「持続可能な社会の創り手を育てる必要性」、「すべての子供が豊かな可能性を開花できるようにすることが不可欠」という文言があります。

現在の学校は、いじめや不登校、支援が必要な子供の増加などの諸課題がある中で、これらを学校教育だけで担うのはかなり難しいと思います。昔のように集落や町内会の中に教育機能を持たせることが難しいとしたら、どこかが担わざるを得ないこととなります。

教育にかけられた期待は大きく、そしてやりがいも大きいことを感じつつ、子供たちの成長に関わることができるとして最善を尽くしていきたいと思っています。

「五色百人一首大会」

令和六年十一月十二日
 本校では、三学年国語科の「君待つと」という教材において、百人一首大会を行っています。この教材には、三大和歌集として名高い三つの和歌集の傑作が収められています。選ばれた秀作や、これまでに多く詠まれている和歌にも触れてほしいという授業者の願いから「五色百人一首」を活用しています。大会では生徒が読み手を担当し、競技者も読み手も声を出すことで、競技としての面白さを味わうとともに音声から和歌に親しむことが同時になされています。先人達の遊びには、思ってもみない教育的効果が隠されているのかもしれないかもしれません。

(旭川市立永山中学校)



センター日誌

- 十一月一日 研修事業拡大大会議
- 十二月六日 運営協議会
- 十二月十日 センター研究発表会Ⅱ
- 一月十日 冬季合同所員研
- 一月二十一日 センター組合教育委員会会議
- 二月十日 センター組合議会定例会
- 三月一日 センターだより第一四九号発行
- 三月三十一日 令和六年度研究紀要第五十号発行 (webサイト掲載予定)
- 四月二日 令和七年度研修講座開催要項発行 (webサイト掲載予定)

※毎週火曜日 定例研究室会議
 ※随時 研修講座講師打合せ会議

10 理科指導 7/29(月)・10/2(水)

研修講座寸評

受講者の感想から



・ 中学校の先生の実践や実情を知ることができてよい機会になりました。また、小学生段階から身につけることが必要な点も知らることができ、事象の提示方法や理科の見方考え方の提示は取り入れてみたいと思いました。

・ 協働的な学びを促すための工夫について考えを共有することができました。科学的に探究する力を高め、学んだことを日常生活と関連付ける姿勢を育てるための指導方法について学ぶことができました。

○講師

栄 耕平 (旭川市教育委員会 主査)

木下 真奈美 (共栄小 教諭)
清水 良 (忠和中 教諭)

12 算数・数学科指導 8/1(木)・9/25(水)

○講師

沼澤 和範 (旭川市教育委員会 主査)

山下 華 (東五条小 教諭)
柴田 祐希 (神居中 教諭)

・ 小・中の先生で指導案検討できたことはとてもよかったです。新たな視点を見つけることができました。また、中学校ではこのレベルまで身につけてほしいという話もありました。中学校を見据えて小学校ではどのレベルまで指導すればよいのかを確認できる時間でした。

・ 小学校と中学校のそれぞれの公開授業と研究協議がセットになっていたところがよかったです。また、助言者からの解説があり、授業作りの視点がわかりました。



13 外国語(英語)指導 8/2(金)・9/27(金)

○講師

坂井 誠亮 (北海道教育大学 旭川校 教授)

早川 栄里子 (永山南小 教諭)
庭瀬 奈穂美 (春光台小 教諭)

・ 校種が違う先生方や、専科ではない先生、そして現役の学生さんと、それぞれの多様なご経験から学ばせていただくことや、発見が多くありました。特に小中七年間での学びの接続は、小中の連携あってこそだと思っています。

・ 午前、午後ともに異なる思考ツールを活用した授業を拝見させていただきました。そのままでも活用できそうなものもあり、是非活用していきたいと思いました。本日はありがとうございました。



・ 外国語指導の基本から実践まで、多くのことを学ぶことができました。他校の先生方の日常の実践や悩みなども交流でき、参考にさせていだきたいと思えます。旭川中以外の中学校の先生と交流できたのもよかったです。

・ 小学校や中学校の英語指導の違いが理解できました。特に中学校の英語からは、小学校と中学校同士が学習内容の共通理解をはかることが、学力向上につながると思います。

○講師

久保田 竜平 (上川教育局 指導主事)

下谷 祐樹 (愛宕小 教諭)
水戸 麻央 (明星中 教諭)

14 社会科指導 8/5(月)・10/31(木)

○講師

坂井 誠亮 (北海道教育大学 旭川校 教授)

早川 栄里子 (永山南小 教諭)
庭瀬 奈穂美 (春光台小 教諭)

・ 午前、午後ともに異なる思考ツールを活用した授業を拝見させていただきました。そのままでも活用できそうなものもあり、是非活用していきたいと思いました。本日はありがとうございました。

・ 午前、午後ともに異なる思考ツールを活用した授業を拝見させていただきました。そのままでも活用できそうなものもあり、是非活用していきたいと思いました。本日はありがとうございました。



19 ICTと情報モラル 9/9(月)

○講師

伊藤 健治 (幌加内小 教頭)
能勢 浩司 (新富小 教諭)

・情報モラルからデジタルシティズンシップへの転換を理解できる授業をみせていただきました。子供たち主体で学び合う授業は、今後ICTを活用した授業を進めていくにあたり大変学びの多い研究授業でした。ありがとうございました。

・ICTの使い方や、児童・生徒を導いていく立場としての教員の姿勢について学ぶことができました。特に、「タブレット端末を使用していない授業」や「机上が散らかっていない職員室」はまだまだ見られるので、ミニ研修などで声かけしていきたいと思えます。



20 図工・美術科指導(実技) 9/12(木)

○講師

中島 圭介 (旭川中 教頭)
佐藤 賢一 (陵雲小 教諭)

・試しの活動のよさや必要性を感じました。高学年になると、詳しい道具の使い方を説明せずとも、自分たちで、こちらが想像もしていなかった方法を見つけ出す力があることを知りました。アートカードは、大人がやっても大変面白いゲームでした。本日していない遊び方も含めて今後取り組んでいきたいと思えました。

・アートカードを使って活動をすることがなく、使い方もよく分かっていたいなかったので、実際に体験して、使い方を知らなかったことでよかったです。体験した以外にもできる活動があると分かったので、調べて取り組んでみたいと思えました。



21 学校経営II 9/26(木)

○講師

望月 俊綱 (上川教育局 教育支援課長)
福澤 秀 (明星中 校長)
大熊 修一 (東鷹栖中 校長)
小野 直久 (末広小 校長)
大垣 幸治 (東聖小 校長)

・午前中は、講師の先生方による講話が、スクールリーダーとしてのあり方について考えを深めることができました。特に働き方改革について、ご自身の経験からのお話には、深い感銘を受けました。

・望月支援課長、福澤校長先生の講話から、今の時代における教頭としての職務について再確認することができました。また午後からのグループ討議では、教頭の職務を、実際の場面を通じて交流できたことで、明日から工夫してみようと思える実践に触れたのがよかったです。



22 体育科指導(実技) 10/3(木)

○講師

大熊 修一 (東鷹栖中 校長)
坪井 彬人 (北門中 教諭)

・深い学びを感じるためには必要感のある内容が大切で、そのためには、何か一つの点に特化してねらいを定めることが大切だとわかりました。またリズムに乗ることで、楽しさを味わうことと技能を習得できることが分かったので、実践していこうと思えました。

・研究授業では、生徒主体で授業を進めることができるような技術練習の必要感を引き出すための取組について学ぶことができました。講座では、授業における生徒が楽しみながら運動能力を高めるための動きづくりを学ぶことができました。



24 技術・家庭科指導（実技） 1/8（水）

○講師

川邊 淳子（北海道教育大学 旭川校 教授）

小松 恵美子（北海道教育大学 旭川校 教授）

- ・畳縁を使用しての制作でした。とても可愛らしいデザインの日縁がある事に驚いたとともに、畳縁の幅を利用して簡単にペンケースを作る事ができました。日本の伝統的な素材を使用したの制作活動はとてもよいと思いました。

- ・気になっていた教材の実技ができて本当にためになりました。何より、同じ家庭科の先生方で作ることが楽しかったですし、評価についての学びや交流もとても参考になりました。



25 書に親しもう 1/9（木）

○講師

河治 宣人（東五条小 教頭）

- ・筆の使い方方で「こんなに書道って楽しいんだ！」と感じさせてもらえました。これからも時間を見つけて書道に親しみ、子供たちにも伝えていきたいです。

- ・河治先生に楷書や草書等様々な書き方を教えていただきました。先生に筆運びを直に教えていただき、最後には納得のいく作品を作り上げることができました。心を落ち着けて楽しみながら書に親しむことができました。ありがとうございました。



26 絵に親しもう 1/9（木）

○講師

村田 法華（鷹栖中 教諭）

- ・木に描く、色を制限する、木で表す、準備や技法など、絵を楽しく描くためにどのようなテーマやルールの工夫ができるか、たくさんヒントを見つけられたように思います。

- ・鑑賞で自分の作品の発表をするだけでなく、他の誰かの作品に込められた思いを考えて発表するというのがおもしろかったです。



一般研修講座・ICT実技研修講座・出前講座

受講申込方法がFAXから『オンライン』に変更！

皆様に、より手軽に受講の申込をしていただけるように、令和7年度から「一般研修講座」「ICT実技研修講座」「出前講座」の申込方法がFAXからオンラインに変わります。詳しくは、4月2日以降に上川教育研修センターWebサイト上にアップされる「令和7年度 研修講座開催要項」を御確認ください。

令和7年度も、皆様の受講を心よりお待ちしております。

出前講座寸評

近文第1小
「教科等指導（個別最適・協働的な学び）」7/17（水）



【講師：加藤 久貴（朝日小 主幹教諭）】
個別最適化・協働的な学びの場面でのICTの活用について実践例をたくさん紹介していただき、大変参考になりました。また、これからの授業のあり方についても学ぶことができ、大変有意義な時間でした。いただいた貴重な資料も活用させていただきます。御指導ありがとうございます。（近文第1小 阿部 和代）

近文第2小
「教科等指導（算数）」6/28（金）



【講師：谷口 収（北鎮小 教諭）】
今年度、本校の研究の重点である「指導と評価の一体化」について、大変分かりやすく教えていただきました。普段の授業の中で感じる疑問や質問にも、具体的に答えていただき、ありがとうございます。（近文第2小 大道 桜桃）

幌加内小
「特別支援教育」7/23（火）



【講師：後藤 博美（比布中央中 教諭）】
現場目線の内容が多く、明日から実践しているような視点でお話をいただいたので、また特別支援での経験が浅い私にとっても実りのある講座でした。特に、ユニバーサルデザインの視点を大切にするので、発達障害のある子供たちだけでなく、全ての子供たちの過ごしやすいと学びやすさが向上するということがわかりました。（幌加内小 鷲見 隆）

朱鞠内小
「教科等指導（道徳科）」7/18（木）



【講師：伊藤 陽子（正和小 教諭）】
課題に感じていた少人数学習での道徳の指導について子供たちの可能性を引き出したという工夫が示された実践に感激しました。二期以降の御指導ありがとうございます。（朱鞠内小 中村 律稀）

南富良野小
「教科等指導（道徳）」7/24（水）



【講師：内藤 奏子（緑が丘小 校長）】
価値理解と人間理解と他者理解の三つの観点で発問を投げかけることで違った視点から子供たちが考えられるんだと思ひ、勉強になりました。道徳の授業作りのポイントに実際一つに絞って先生方でその教材を例に実際に発問を考えてみたいと思います。お忙しい中講演して頂きありがとうございます。（南富良野西小 長坂 浩督）

知新小「ICTの活用」7/24（水）



【講師：久川 聡（緑新小 主幹教諭）】
昨今のICTの活用状況や、活用例などについてわかりやすく説明をしていただき、大変役に立ちました。次回もお願いができ、その中であれば、演習的な学習も取り込んでも使ってみたいと思います。二期からすぐに活用でき、とても有り難いと感じました。（知新小 渡會 航平）

北星中
「教科等指導（タブレットの効果的な活用）」8/27（火）



【講師：志田 智迪（六合中 教諭）】
日々の活動に生きたGooglegの活用を中心に、様々な実践例を教える。また、テキストマイニングやFigmaにも触れる機会をいただきました。御指導ありがとうございました。（北星中 溝渕 悠太）

明星中
「教科等指導（道徳）」8/21（水）



【講師：今村 恭子（北星中 教諭）】
道徳科の授業において、どんな発問が子供たちに必要か、どんな手順で落とし込むかなどを模索していた中、本講座を通して、どのような手順・考え方で授業を作っていくのか、新しい視点を考えることができました。御指導ありがとうございました。（明星中 砂田 圭登）

愛別中「ICTの活用」9/18（水）



【講師：谷口 雄太（下川中 教諭）】
使ったことのないアプリの紹介や谷口先生の授業実践の参考にご紹介いただき、今後の授業作りの参考にさせていただきます。本日はどうもありがとうございました。（愛別中 本多 沙知）

近文第1小
「各種実技指導（跳び箱等）」9/17（火）



【講師：鈴木 宏始（東光小 教諭）】
器械運動における個別最適な学び、協働的な学びの場面における端末を活用したワークシートの実践の様子や工夫など大変参考になりました。実践できるものばかりで充実した講義でした。ありがとうございました。（近文第1小 阿部 和代）

知新小「今日的な教育課題」12/13（金）



【講師：上村 純一（旭川第3小 主幹教諭）】
講義の中で、ICTの活用に関するカリキュラムにつき、小学校段階における指導の見通しを、また、microbitの活用が、児童の困り感に寄り添った指導を紹介したいと思います。御指導ありがとうございました。（知新小 田中 佳史）

中川中「特別支援教育」11/8（金）



【講師：宮越 けんじ（旭川市教育委員会 特別支援教育専門員）】
本講座を受講して、養育環境に伴う子供への影響について、今まで見てきた表面的な部分だけでなく、愛着の様子を安全基地と例え、日々の授業側で見とれる視点について知る事ができ、とても参考になりました。御指導ありがとうございました。（中川中 中堀 翼）

令和7年度 講座開設の工夫

- (1) 教職生活全般を通じた教職員等の資質能力の総合的な向上を目指す講座運営をする。
- (2) 教育経営研修では、教職生活の各段階で求められる専門性の基盤となる資質能力の充実を目指す講座を開設する。
- (3) 教育指導研修のうち、「学級経営と教育相談」講座では、発達障害や校則の見直し等が新たに盛り込まれた生徒指導提要改訂版やヤングケアラーの理解を深めることを重視する。
- (4) 教育課題研修では、「令和の日本型学校教育」「学校と地域の連携・協働」「センター研究発表会Ⅰ・Ⅱ」の講座で今日の教育課題に対応するとともに、「新しい教師の学びの姿を目指して～研修観の転換～」をテーマにした「教育講演会」を開催する。
- (5) 教科等指導研修では、小中間の連携を図るため、各校種合同で理論研修を行うとともに、それぞれの授業研究を行う。
- (6) 教科実技研修では、免許外教科担任のニーズに応えるため、管内研究団体と連携した講座を開設するとともに、授業研究及び受講者の指導実技向上を重視する。
- (7) ICT実技研修では、教職員のニーズに応えるため、生成AIに関する内容を取り入れるとともに、「表計算」「タブレットPC」「プログラミング」についての講座を開設する。また、定年延長に伴いベテラン層のニーズが高まっていることを踏まえた講座内容を工夫し、全講座で複数講師による少人数指導で対応するとともに、受講しやすくなるように全講座を半日日程で開設する。
- (8) 北海道立教育研究所と連携した講座を開設する。
- (9) 期限付教員の指導力向上のため、各講座への積極的参加を勧める。
- (10) 講座開設情報は、開催要項・センターだよりのWebサイト上への掲載、電子メールによる講座案内等により広く提供していく。
- (11) 講座運営に関する各種資料、関係図書の利用性を図れる資料室の充実に努める。
- (12) 上川管内で開催予定の各教科等の全道・全国規模の研究大会との連携に努める。

令和7年度 ICT実技研修講座の開設について

GIGAスクール構想の推進により、令和5年度までに「一人一台PC端末」および「校内無線ネットワーク環境」の整備が全国の小中学校でほぼ達成されました。令和6年度からは、次のステージである「次世代のGIGAスクール(Next.GIGA)」が目標となり、ICT環境のさらなる充実に加え、児童生徒の情報活用能力を育む教育活動の一層の充実や、AI時代に必要な資質・能力の向上が求められています。このような中、「個別最適化学び」の深化と、「思考力・判断力・表現力」を育む「協働学習」を推進するために、教職員が果たすべき役割もますます重要になっています。当センターでは、ICT活用スキルの向上や校務の効率化に役立つ実技研修講座を提供します。本講座を通じて、Next.GIGA時代に対応した授業づくりと校務改善にぜひお役立てください。

開設講座について

【表計算に関する講座】

- A <表計算入門> (初級者向け)
エクセルの基礎・基本や初歩的な関数、絶対参照・相対参照など。
- B <校務のための表計算> (中級者向け)
校務で活用できるエクセルの技術や関数など。
- C <校務のための表計算/クラウド活用> (中級者向け)
校務で活用できるクラウドサービスと表計算の応用など。

【プログラミングに関する講座】

- D <授業のためのプログラミング入門> (初級者向け)
小学校プログラミング教育の基本的な理論と最新動向。
プログラミングソフトScratchやMicro:bitを活用した初心者向けのプログラム作成。
AIの基礎知識を含め、子供たちが直面する未来の情報化社会への理解。

【タブレットPCに関する講座】

- E <タブレットPC入門> (初級者向け)
タブレットPCの基本操作から、学校で活用できるアプリの導入・設定方法。
授業や校務の初歩的なICT活用に対応するスキルなど。
- F <授業でのタブレットPC活用> (中級者向け)
ICT機器や生成AIを効果的かつ効率的に活用する授業デザインの具体例。
デジタル教材やオンラインツールを用いた、協働学習の促進や個別最適化された学びの実現に向けた活用方法など。
- G <校務でのタブレットPC活用> (中級者向け)
校務効率化を目的としたICT機器やクラウドツールの応用的な使い方。
生成AIを活用したデータ整理、業務負担軽減のための実践的スキルの習得。
セキュリティ対策や情報管理に関する学習など。

令和7年度 上川教育研修センター 開催予定講座

番号	講座名	開催日	研修のテーマ	授業	
1	学校経営Ⅰ	6/3	令和の日本型学校教育の実現に向けた学校経営の在り方		
2	特別支援教育	①6/12 ②9/24	障がいや特性がある児童生徒に対応した教育支援の提供や、 環境整備と教育プログラムの在り方	小中	
3	学級経営と教育相談	未定	『生徒指導提要』の改訂をふまえた、これからの生徒指導の 方向性		
4	センター研究発表会Ⅰ	6/17	第20次研究2か年計画（2年次）の研究発表 ～センター研究員の実践～	未定	
5	読書活動	6/26	児童生徒に本を読む楽しさを実感させる指導の在り方	中	
6	幼保小連携教育	7/24	幼児教育と小学校教育の円滑な接続を目指す幼保小連携教育 の在り方		
7	道徳科指導	①7/25 ②9/3	児童生徒が主体的に考え、議論する道徳科指導の在り方	小中	
8	教育講演会	7/28	演題（仮）「新しい教師の学びの姿～研修観の転換～」 講師：中澤 美明（北海道教育大学教職大学院 特任教授）		
9	外国語（英語）指導	①7/29 ②9/29	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、 コミュニケーション能力を高めるための効果的な指導の在り方	小中	
10	国語科指導	①7/30 ②9/9	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正 確に理解し適切に表現する資質・能力を育てる授業の在り方	小中	
11	社会科指導	①7/31 ②9/26	社会的な見方・考え方を働かせ、多面的、多角的に考察し、課題解決に向 けて選択・判断・議論する力を育てる社会科指導と評価の在り方	小中	
12	算数・数学科指導	①8/1 ②9/25	数学的な見方・考え方を働かせ、課題解決を行うための思考力・判 断力・表現力を育てる算数・数学科指導と評価の在り方	小中	
13	学校事務実務	8/4	学校事務における今日的課題		
14	理科指導	①8/5 ②10/6	理科の見方・考え方を働かせ、科学的事象を多面的・多角的 に捉え、考察する力を育てる、理科指導と評価の在り方	小中	
15	令和の日本型学校教育	8/22	新たな教師の学びに向けた校内研修の在り方（研修観の転換）		
16	学校保健	9/2	児童生徒の心身の健康を育む学校保健の充実		
17	学校と地域の連携・協働	9/4	社会に開かれた教育課程の実現とコミュニティ・スクールの 在り方		
18	ICTと情報モラル	9/8	情報モラルを身につけ、ICTを適切に使用させるための指 導と評価の在り方	中	
19	学校経営Ⅱ	9/22	スクールリーダーとしての教頭の在り方		
20	書写指導（実技）	10/3	書写指導における基礎的な実技指導と評価の在り方	中	
21	音楽科指導（実技）	10/16	音楽と豊かに関わる力を育成する音楽科指導の在り方	中	
22	センター研究発表会Ⅱ	12/2	第20次研究2か年計画（2年次）の研究発表 ～センター研究員の実践～	未定	
23	書に親しもう	1/9	豊かな表現で書に親しむ（作品制作）		
24	絵に親しもう	1/9	豊かな表現で絵に親しむ（作品制作）		
ICT 実技 研修 講座	A	表計算入門	6/10 7/25	エクセルの基本的な使い方や表計算の概念について（初級者向け）	
	B	校務のための表計算	7/25 10/3	IF関数やVLOOKUP関数など、実際の校務で使うテク ニックや応用（中級者向け）	
	C	校務のための表計算／ク ラウド	6/27 12/1	Formsと表計算アプリの活用、COUNTIF関数を用いた集計など （中級者向け）	
	D	授業のためのプログラミ ング入門	7/30 11/11	ScratchやMicro:bitの基本操作など授業を想定した実技研修及び eスポーツ体験など子供たちを取り巻く情報化社会の理解（初級者向け）	
	E	タブレットPC入門	6/4 9/17	タブレットPCの基本的な使い方について、クラウドサービスやWeb 会議の利用（初級者向け）	
	F	授業でのタブレットPC活用	7/31 1/7	GIGAスクールに対応した授業の実際やタブレットPCの効果的・効 率的な活用、生成AIの活用方法について（中級者向け）	
	G	校務でのタブレットPC活用	6/25 7/31	クラウドサービスやタブレットを活用した校務の能率化について （中級者向け）	
	出前講座	随時	管内各校（教育機関）からの要請に応じ実施する		

協力校
の実践

求められる資質・能力を育むために、生徒が理科の見方・考え方を働かせ、探究することを目指した授業

旭川市立東鷹栖中学校 第一学年 理科 授業者 森 憲 児

一 児童生徒の思考に沿った単元デザインの工夫

「鍵盤ハーモニカの音は鳴るのか、音の聞こえ方が変わるのなぜか」という、ブラックボックス化した楽器の自身を考える大きくくりな課題を設定し、生徒が個々の自由な予想を引き出すことをねらった。また、生徒が個々に抱いた疑問を解決するための方法を計画し、実験を行う探究的な活動を通して音の性質を理解できるように単元をデザインした。さらに、探究の場面毎に、知識の結び付きや他者との学び合いなどを視点とし、継続的な振り返りを通して、自己調整を促すようにした。

二 児童生徒の深い学びを充実させる本時の工夫

本時は「鍵盤ハーモニカの中の仕組みを科学的な根拠をもって説明しよう」という課題を設定した。探究の過程で得てきた知識を関連付けながら、楽器の構造と音の聞こえ方が変わる仕組みを考えさせた。鍵盤ハーモニカの仕組みから気付いたことを基に、音の性質について整理できるよ

三 本実践の成果と課題

単元を通した大きくくりな課題に対し、自分の疑問を整理する時間、課題解決のために実験を計画し、実験を行う時間を設定したことで、単元を通して生徒が主体的に学ぶことができた。その中で、「理科の見方・考え方カード」の活用は、より科学的な根拠をもって思考することにつながった。自分の考えを科学的な根拠を大切にして、深めさせる際の発問についてさらなる吟味の必要がある。



上川教育研修センター料金表

R6. 4.1 改訂・単位:円

(冷房は講堂と第1研修室のみ、暖房料金と同額)

使用区分	使用者区分	午前(9時~12時)			午後(13時~17時)		
		使用料	暖房料	合計	使用料	暖房料	合計
講堂	一般	2,750	1,100	3,850	3,080	1,320	4,400
	承認団体	1,380	1,100	2,480	1,540	1,320	2,860
講堂 A・B	一般	1,380	550	1,930	1,540	660	2,200
	承認団体	690	550	1,240	770	660	1,430
研修室 会議室	一般	1,100	550	1,650	1,320	660	1,980
	承認団体	550	550	1,100	660	660	1,320
和室	一般	550	330	880	660	330	990
	承認団体	280	330	610	330	330	660
研究室	一般	1か月	45,980				
	承認団体	1か月	22,990				
		(暖房料)	1日 990(×日数)				*1か月未満も一月として計算
物品 1区分当たり	マイクロホン				1本	330	
	ハイパワーアンプ(マイクロホン1本を含む)				1台	440	
	オーバーヘッドプロジェクター				1台	440	
	ビデオレコーダー				1台	440	
	デジタルVCRレコーダー				1台	440	
	スライドプロジェクター				1台	440	
	液晶プロジェクター				1台	440	
	パーソナルコンピュータ				1台	440	
	DVD/CDプレーヤー				1台	440	
液晶テレビ				1台	440		

* 研究室は、1か月単位(1か月未満でも一月として計算)

* 冷房料金は7月1日から8月31日、暖房料金は10月1日から5月31日までを基本として、使用した場合に徴収し、使用しなかった場合は徴収しない。(基本の時間外も同じ取扱いとする。)

* 1区分とは、午前・午後の区分をいう。

【利用上のお願い】

会場利用にあたっては、右記の表の時間区分内での使用を守っていただくようお願いいたします。また、ごみの持ち帰りへの御協力もよろしくお願いいたします。

なお、当日の混雑状況によっては、当研修センターの駐車場に駐車できない場合があります。予め御承知おきください。

責任者 石前 聖香
発行 上川教育研修センター
発行日 令和七年三月一日
〒077-0100 旭川市六条通四丁目
電話(0116) 24-1250